

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！6月末時点で、第3期生3名が海外留学中です！※うち2名が新型コロナウイルスの影響で一時的に中止

○小中学生向けの音楽授業動画を作成

ハンガリーに留学中の第3期生文化芸術コース清水柚衣さんが、ご自身の小学校教員としての経験を活かした「音楽授業動画」を作成し、配信しています。

ハンガリーでは3月に非常事態宣言が発出され、活動や外出などが制限されている中で、清水さんは、北海道のために自分にも何か出来ることはないかと思い、小中学生向けの音楽授業動画を作成されました。多くの子どもの目に触れ、お役に立てればと思います。

【音楽授業動画「おうちで音楽の授業」】

- 第一回オペラだって楽しく聴けちゃうもん <https://youtu.be/XbyfCDrtZyI>
- 第二回“身体の音楽”バレエの魅力 <https://youtu.be/Yi0Uws2pEE0>
- 第三回ちびっこだって“構成”わかるもん <https://youtu.be/pqWUg-jvI0c>



○留学生たちの活動状況

学生留学コース

第3期生 有働 篤人さん【留学先】フィンランド 【留学期間】2019年9月～2020年5月（9か月間）※留学終了
札幌を世界のデジタル観光都市にするため、先進的なゲーム制作やソフトウェア開発を学ぶ

DEMOLAで行っていたスマホ向け学修支援アプリTUUDOの改良プロジェクトは引き続きオンラインで行われ、利用者が利用状況に関するデータ収集が重要であるため、利用者のプライバシーに配慮しつつ、収集可能なデータの種類を精査し、TUUDOを改良するために必要なものだけに絞り込みプロジェクトに盛り込みました。

Fingersoft社での活動で制作中のプロトタイプも形にすることができましたが、リモート活動で時差があることにより、こちらの作業についてのフィードバックを得るまでに相当の時間を要し、制作中のプログラムに不具合があった時に報告しても見落としが発生するなど、コミュニケーションに苦労しました。

留学は5月末で終了し、ゲームを産業として国レベルで推し進めているフィンランドで多くのことを学ぶことができました。新型コロナウイルスの影響で多くの価値観が変わった今、クリエイターの活動がどのようなインパクトを与えるべきかなど、一人のクリエイターとして留学したからこそ考えるべきことは多くあるので、今後は留学経験を生かし、クリエイターの側面から北海道に貢献していきたいです。



スポーツコース

第3期生 向井原 洋平さん【留学先】アメリカ 【留学期間】2019年7月～2020年7月（12か月間）※一時休止で帰国中
アスレティックトレーナーに必要な最新スポーツ医学の知識と技術を学び、道スポーツ界に貢献

5月はリモートでの選手のリハビリ対応やオンラインでの勉強会に加えて、大学院の期末試験と修士プロジェクトの提出がありました。プロジェクトは大学院教授陣の審査を受け、先日、無事に受理されました。通常であれば教授陣への対面での発表がありますが、コロナ禍を受けて発表は中止となり、代わりにエグゼクティブ・サマリーというプロジェクトの概要を提出しました。

今回のプロジェクトでは、昨年末に取り組んだ肩関節周囲筋群の筋活動を測定した研究から小円筋が優位に働くポジションと動作からエクササイズを2つ設定し、その2つのエクササイズを実施した群の投手の方がシーズン中の投球腕のコンディションを維持できると仮定し、コントロール群の投手との比較研究を行いました。コロナ禍によりサンプルの総数がさらに減少し、2群においてシーズン前とシーズン中のKJOCスコアに統計的な優位差は見られませんでした。投球障害の予防を目的とした小円筋のトレーニングに関する研究は学術的に乏しく、引き続き研究していきたいです。



文化芸術コース

第3期生 清水 柚衣さん【留学先】ハンガリー 【留学期間】2019年9月～2020年8月（12か月間）
ハンガリーでリスト音楽院のプログラムに参加し、演奏活動を通じ、北海道の音楽環境やレベル向上を目指す

5月はアカデミーで知り合った声楽家の方と、自宅の庭でアウトドアコンサートを行いました。お世話になっている大家さんのために、日本歌曲やイタリア歌曲を演奏し、ピアノソロでもメンデルスゾーンの小品を演奏しました。

緑の中、太陽の下で演奏できて、大変気持ち良かったですし、こうして時々人に聴いていただけるのは本当にありがたいと感じます。

現在アカデミーは夏休みで公式には授業はありませんが、冬のゼメスター（学期）の間、別の授業と時間が被っていて受けられなかったハンガリー語の補講を週に2回オンラインレッスンにて受講しています。また、ピアノのレッスンに関しては対面レッスンは未だ再開されていないため先生に課題曲と締め切りを指定してもらって期日までに録音を提出するという課題に取り組んでいます。

現在は、毎週月曜日には演奏動画、毎週水曜日には授業動画をYouTubeに投稿しています。



○第2期生の留学成果報告 ~R元年度に全ての基金生が帰国した第2期生の成果報告を紹介します~

学生留学コース 星野 愛花里さん【留学先】キルギス【留学期間】2019年1月~2019年12月（12か月）
農産物等の輸出入の可能性を探り、北海道の農業に貢献

【留学概要】

キルギスにおける地域農産物の生産・流通についての調査実施と北海道の農業の多様性を探るため、キルギス協同組合連盟においてキルギス全体の農業を把握し、キルギス国内外の農産物流通を把握しました。また、イシククリ農協で農民組織の経営概要を把握し、農家の経営や生活状況を把握し、有機認証制度の導入経緯と手続きの利点等も学びました。

【留学を通じて感じたこと】

農民は「遊牧時代の自給経済+出稼ぎ」で生活をしており、商品の生産体制は不安定である。農民組織は存在するものの買取契約などがない限り動かないので、貿易する場合は技術移転や商品開発をこちら側から提案する必要があると思いました。

認証制度は輸出のために整えているところであり、現時点では外国の認証制度をドナーの支援などで獲得している。流通機構が整っていないが、大陸の真ん中に位置しており、やり方次第では様々なところに販売が可能であると思いました。

【帰国後の活動・今後の目標】

中央アジアとのビジネスを考える

シーベリーの加工でキルギスと協力関係にある土幌高校で、キルギスの農産物と北海道の農産物の協力で意見交換をしたいです。話し合いをもとにキルギスと北海道で協力できるビジネスモデルを考え、キルギスに提案したいと思っています。



【現在北海道大学農学院研究生】

スポーツコース 梅村 拓未さん【留学先】ドイツ【留学期間】2018年7月~2019年6月（11か月）
北海道の子ども達の運動能力向上に向け、「バルシューレ」を学ぶ

【留学概要】

子どもの発達段階を考慮し、楽しみながら運動能力を伸ばすボール運動指導プログラム「バルシューレ」について、プログラムを創設したドイツのハイデルベルク大学や地域のクラブなどで実践的に学びました。

【留学を通じて感じたこと】

多くの指導者、子どもたちとコミュニケーションをとる中で、子どもたちとどのように関われば、どの能力を伸ばすことができるかを肌で感じました。サッカー教室では、指導するという経験もさせていただき、子どもたちへの声かけがどのくらい子どもたちの次の挑戦を喚起し、道具の置き方や色がどのように子どもの能力向上につながるのかを身をもって感じました。

【帰国後の活動・今後の目標】

バルシューレの理念を用いたスポーツ指導と指導者の育成

所属するSports Life Iwamizawaで行っているバルシューレ教室及びサッカー教室において、バルシューレの理念を用いて子どもたちに指導を行っています。ドイツで学んだ子どもたちとの関わり方、メニューの構成などを応用しています。

今後も研究を続け、北海道で子どもたちの運動に関わる指導者に対し研究者という立ち位置から働きかけ、指導者の育成に取り組んでいきたいです。



【現在Sports Life Iwamizawaで活動中】

基金生の活躍機会や、活用できる場の提供などございましたら、下記（総合教育推進課）に御連絡ください。

応援パートナーの皆様

(2020年6月現在・敬称略)

明くる元気にこのまちを
苦小牧信用金庫

岩田地崎建設

HBA

有限会社 キョウゴク

札幌市 City of Sapporo

Secoma

大地コンサルタント 株式会社

TAIYO GROUP

大和証券 Daiwa Securities

TAHEI YAKA

おいしい、北海道らしく。 Nichiryō

北洋銀行

Akeda Construction 株式会社 丸竹竹田組

株式会社 丸升増田本店

なの花薬局 MEDICAL SYSTEM NETWORK GROUP

MOROO

アイングループ

Asahi アサヒボール

AminoUP

イオン北海道株式会社

INDETAIL

NTT東日本

小樽商科大学

kanamoto

北薬楼 Newett Pills Japan Co., Ltd.

有限会社 京林トネリコ

CRYPION Sound the future.

株式会社 クレタ

サツドラ

Century Royal Hotel センチュリーロイヤルホテル

札幌商工会議所 The Sapporo Chamber of Commerce and Industry

SAPPORO

ジェイアイ傷害火災

JFE JFE エレクトロニクス

JTB

子どもたちに贈られるしるし。清水建設

一生運のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group

大成建設 For a Lively World

ロイトン札幌 DaiwaHouse Group

丹波屋

Chitose Bus 千歳相互観光バス

TOINT

東京海上日動

D道路工業株式会社

Docon

Nipponham

日本銀行 日本銀行北海道

NORTH CREATE

株式会社 HARP

萩原建設工業

HITACHI Inspire the Next

北陸銀行

北海道銀行

HORI

IKEUCHI GROUP

MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better

三菱電機ビルテクノサービス

留学ステーション One Hokkaido Project

有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 鈴木 伸明
武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹 山田 義勝 その他匿名希望の個人・企業5者

北海道総合政策部政策局総合教育推進課

TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313

E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ : http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm



基金生のチャレンジ風景をお届けします。

